

ひまわりからの メッセージ

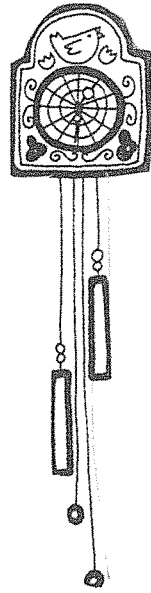
119号

2021.7.12

NPOひまわりの花内
西濃園域
発達障がい支援センター

発行人：中野なみ子

真夜中のベル



午前三時すぎに電話が鳴りました。けれど呼出し音は一回で切れてしまいました。起き出してみると非通知です。相手は心に悩みをもつ人かもしれません。毎日の睡眠が五時間程度の私にとって、三時の電話のベルで、結局朝までの眠りを奪われることになりました。でも心病む人には、土日曜も深夜も無いのでしよう。そんな生活の中ですが、六月の末に私は伊吹山のふもとにある伊吹薬草の里文化センターに出かけました。いつもは、新聞の折り込みに全く目を通すことのない私が偶然にも目にしたのが平山郁夫の版画展のちらしでした。

平山郁夫は、シルクロードの作品を多く残しました。駱駝の背に乗って砂漠を旅する隊商の作品の前では、つい「月の砂漠」を口ずさみたくなります。私のあこがれだった。パルミラの遺跡やバーミヤ

ンなどはテロで破壊されてしまっ。もはや自分の目で見ることはできませんが平山画伯の作品の中で出会うことができます。以前にも書いたかもしれませんが、何故か私は砂漠に心惹かれます。私が旅した所は、いずれもゴビ、サハラ、タフラマカンなどにつながる国々でした。砂漠の中にこんもりと盛り土された墓と、殆んど平らになってしまった墓などを見ると、こうして人は大地に還っていくのだなあと思ひ、遠き代の人々に思いを馳せてしまいます。きっと私の祖先は砂漠の民だったのかもしれないと思ったりします。

コロナ禍で旅にも行けず、美術館からも遠ざかっていた生活の中で、久しぶりの憩いのひとときでした。ほんのわずかな時間でしたが、私にはまだやれることがあるはずだ、やるべきことがあるはずだと目に見えないエネルギーをもらった気がしました。

皆さんは、どんな日々をお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスの感染拡大が続く、大人たちの不安や葛藤が子どもたちの心に様々な影響を与えていくことを考えると胸が痛みます。マスク姿の子どもたちの目の動きや輝きから、その心を読みとろうと思いますが、十分なことはできません。願わくは、子どもたち自らがこの時代から何かをつかみ取ってほしいと思います。そして私たち大人も自分を見つめ直す良い機会にしていけるといいですね。

小児期の新しい健診

〜藤井秀比古先生の講演を聞いて〜



先日、大垣女子短大の特別講座で市民病院の藤井秀比古先生のお話を聞きました。乳児期からの子どもの発達と健診についての講演でしたが、今までの復習になった部分もあり、新しい発見もありました。

日本とアメリカの健診の違い

日本でもアメリカでも小児の健診が行われていますが、両国で大きな違いがあるそうです。日本では病気の早期発見に重点がおかれていますが、アメリカではヘルスプロモーションと言って出生から二十歳まで健康に育つことの保障ということが大切にされているといます。

そして、就学前教育がその後の人生にどのような影響を及ぼすのか、仮設を立てて「ペリー就学前プログラム」に取り組みました。このプログラムでの教育と経済について、就学前の教育がその後の人生に影響を与え、所得や社会収益率に上がるといふ結果が出たというのです。方法として、ミシガン州の低所得アフリカ系米国人の三〜四歳の子ども五十八人に、幼稚

園は六人に一人の先生が担当。先生の資格は修士号以上の学位をもつ児童心理学などの専門家があたり、午前中二・五時間の読み書きと歌のレッスンを週五日間を二年間受講。そして一週間に一・五時間の家庭訪問を行ったという。しかも四十年間にわたってフォローしたのだということです。

こんなことができるのも、さすがアメリカというべきかどうか分からないけれど、幼児期の大切さということは、今までで言うわれてきていて、日本でも久保田のおばあちゃんと呼ばれて一時期テレビで引っぱりだこだった人がいたことを思い出しました。

乳児期の保護者へのガイダンス

保護者に対するガイダンスで①家庭内の役割分担として、友人や家族、親族と連絡を取り合って困った時には助けをもらうこと、パートナーにも赤ちゃんのケアに参加してもらうこと②安全の確立として、予期せず寝返りを打つことがあるので、転落に気をつけることが語られました。赤ちゃんが三〇センチの高さから落ちると脳出血がおきること、それによって虐待を疑われるということもはじめて知りました。

もう一つ、沖縄の咲原ドクターの論文として、母乳栄養を基本としながら、生後一ヶ月から人工乳を与える

と、牛乳アレルギーになりにくいというのも新情報でした。

一歳半・三歳健診の頃のアドバイス

一歳半健診の留意点として、浴室のドアを子どもが一人で開けられないように工夫されているか、睡眠が十一〜十三時間とれているか、叩く・かむなどの行為は許してはいけない等の保護者への助言が必要と話されました。

三歳見健診では、育てにくさを感じる親が増えます。子どもの自己主張がはげしくなってくるので当然と思えますが、安全の確立という点では、お子さんにあったチャイルドシート、兄弟に見守りをさせない、車が通る路地では絶対に目を離さない、窓からの転落を防ぐため窓の近くに家具を置かない、薬や洗剤などは手の届かない場所に保管する等々が大事なポイントです。

五・六歳健診での対応

最近、五歳見健診を行う自治体が増えてきました。この年令では、社会的行動という点で、人の話を聞いて注意を払うことができ、集団生活が困難なくできる力が育ってくるわけですが、「本人や周りの困りがあれば診断に」と先生はおっしゃいました。落ちつきがない、視覚的な刺激で注意がそれやすい等の行動が見られる場合、先生が診断をお

しゃったのは、正しい対応が必要だと思われるからでしょう。

AD/HD(注意欠如・多動症)の対応として①環境調整
②ペアレントトレーニング③ソーシャルスキルトレーニング④薬物療法などが考えられますが、②はとも大切ですが、保護者が理解し対処法を具体的に知ることがないと、①の環境調整もソーシャルスキルトレーニングも決してうまくいかないでしょう。AD/HDは脳が成熟してくる十三歳頃には行動が落ちついてくると言われていますが、それまでの間をどの様に対応して育てていくかが重要だと言えるでしょう。

LD(限極性学習症)も最近よく知られるようになり、またが読み書きの苦手ながあるとすぐにLDだと考えるむきもあるように思います。LDは、知的能力障害や他の神経疾患、心理社会的逆境、不適切な教育的指導によっては説明できないものという規定があります。つまり、知的能力障害ではないということを知っておきたいものです。読み書きに関しては、読み書き、症状チェック表、音読検査、読み書きスクリーニング検査などがあり、LD/IERといった検査も利用されています。

五六歳健診の保護者への助言として次のポイントが示されました。
・お子さんが達成したこと、挑戦したことをほめましょう。
・しつけとは罰を与えるのではなく適切な行動を教えること。
・腹がたつた時、気持ちを相手に伝えて伝える。部屋の外でちがうことをするなど暴力なしで落ちつけるように助ける。

・叩く、ける、かむなどの暴力を絶対に許してはいけない。
園や学校ではおとなしいけれど家では母や妹に手をあげる子も
いますが、「ことばで気持ちを伝える」ことの大切さを根気よく
教えていきたいと思います。

十一歳から十七歳健診

この時期は思春期に入ってきていますが、学校での集団健診のみ
で、日本では個別健診はありません。この時期は身体面や精神
面の变化も大きく、社会的行動の変化に保護者も戸惑うこと
が多くなります。不登校もふえてきます。

不登校の背景に存在する可能性のある疾患・病態として
次のようなことが考えられるそうです。

- ・精神疾患……うつ病、摂食障害、統合失調症、児童虐待など（摂食障害はコロナで増加）
- ・発達障害

・いじめ（その他の病態との関連もある）

- ・身体疾患……ぜん息、アトピー性皮膚炎、慢性・急性の胃炎、過敏性腸症候群、睡眠障害、片頭痛、膠原病、慢性疲労症候群、慢性腎疾患、起立性調節障害

悩んでいる子どもたちに寄り添うことがますます大事なことだと

思います。生活リズムを崩さない様な工夫は必要です。
そして、思春期の子をもつ保護者への助言として、家族
で何か決める時にはお子さんの意見も聞いて問題解決
し、決断するという経験もさせる。お子さんが自由時間を
誰とどこで過ごしているか知っておく、利用しているSNSを
把握し、利用する上でのルールを話し合っておく等があげら
れていきます。

成育基本法と成育医療

「成育基本法」は二〇一八年の十二月に公布された法律
で、出生から大人になるまでの成育過程を、医療、保健、
教育、福祉が連携して切れ目なく支援をしていくことを
国民に約束した法律です。そして成育医療は専門的
な知見をもとに子どもたちの成育過程に提供する医療
と言えます。五歳児健診まで終わってしまっている健診の
あり方も今後変わってくるかもしれませんね。

お知らせ

・センター親の会について

8月 休会

9月13日(第2月) スイトピア

10月18日(第3月) 6F1に
変更です。

